

緑豊かでゆとりと潤いのある快適な環境と美しい景観の創造をめざして



日造協ニュース

2025.10月
通巻 第619号

発行：一般社団法人日本造園建設業協会 編集：広報活動部会 <http://www.jalc.or.jp>
 〒113-0033 東京都文京区本郷3-15-2 本郷二村ビル4階 TEL:03-5684-0011 FAX:03-5684-0012

本号の主な内容

- 2面 【学会の目・眼・芽】「夢」を描くランドスケープという専門分野
 (社)日本造園学会理事・関東支部部長、千葉大学大学院園芸学研究院教授 木下剛
 2、3面 特集 日造協“会員企業の社会貢献活動”
 緑産業が拓く未来の地域コモンズ／修学旅行とSDGs 探究学習を融合
 ビジネス展開を楽しみにラオスで居酒屋
 3面 第20回 若年者ものづくり競技大会開催 造園「金賞」に森本波音さん
 4面 【ふるさと自慢】鳥海山や湧水がもたらす豊かな自然と景観と食べ物
 山形県支部 越田史子(庄内園芸緑化㈱)

【緑滴】孫に夢中、老後はお預け

大分県支部 坂ノ下幸子(㈱九環緑地建設)



中央：吉井章国土交通大臣政務官、左：高梨雅明都市緑化推進運動協力会会長、右：河村正人
 2027年国際園芸博覧会協会事務総長 着物の女性は日本さくらの女王⑥、さくらプリンセス⑤

緑化意識の高揚を図るために毎年10月を「都市緑化月間」と定め、国土交通省、都道府県、市町村で、都市緑化および都市公園等の整備の推進に関するさまざまな活動が実施されている。

そのオープニングセレモニーとなる「都市緑化キャンペーン2025」は10月3日、東京都千代田区の有楽町駅前広場で開催した。

会場では都市緑化キャンペーンや来年9月18日から11月8日に開催する「第43回全国都市緑化フェアin京都丹波」、2027年3月から約半年間開催する2027年国際園芸博覧会「GREEN × EXPO2027」の紹介が行われた。

都市緑化キャンペーンセレモニーでは、吉井章国土交通大臣政務官、高梨雅明都市緑化推進運動協力会会長、河村正人2027年国際園芸博覧会協会事務総長、第30代日本さくらの女王、第30代さくらプリンセスがプレゼンターとして登壇、来場者にコンテナシクラメンなど700鉢の花鉢を配布した。

キャンペーンは、「ひろげよう 育てよう みどりの都市」をテーマに、日造協をはじめ、緑化関連の17団体で構成される都市緑化推進運動協力会等が主催、国土交通省、東京都、千代田区、全国知事会・市長会・町村会の後援で開催。多くの人が賑わった。



日造協は9月5日(金)、令和7年度全国事務局連絡会議を、東京都千代田区紀尾井町の都市計画会館会議室において、対面とWEBを併用したハイブリッド形式で開催した。

会議ではまず各総支部・支部からの報告、その後、本部からの依頼事項や情報

提供について説明がなされ、最後に京都府支部高橋事務局長より来年開催予定「第43回全国都市緑化フェアin京都丹波」の紹介が行われ、全国の事務局に向けて多くの参加を呼びかけた。

また、会議終了後に懇親会を開催し、交流、意見を交わした。

関東・甲信総支部が喫緊の課題など 国営昭和記念公園事務所と意見交換

日造協関東・甲信総支部は7月24日㈭、渋谷区の造園会館で、国営昭和記念公園事務所と意見交換会を行いました。

意見交換会は5年前に国営昭和記念公園事務所より、現場の“生の声”を聞きたいとの申入れで始まり、今年5回目。

公園事務所から辻野恒一所長、秋山義

典公園調整官をはじめ幹部5名。総支部から鈴木義人総支部長はじめ総支部5名、本部の伊藤康行専務理事が参加しました。

“生の声”を聞くこの会は、次第や進行、議事録無の形式に捉われないフリーディスカッションで、喫緊の課題の「倒木」「担い手不足」「熱中症」などが話題に上がり、予定の2時間を超過して、意見を交わしました。

「担い手不足」も、この場で解決する

樹林

(一社)日本造園建設業協会理事

古積造園土木(株)代表取締役 古積 昇



造園×音楽=みんなの夢、そして世界へ

◆造園の仕事と未来

最近、私たち造園業界を取り巻く環境は大きく変化しています。人口減少や高齢化、気候変動による自然災害の増加、そして生活スタイルの変化。こうした中で、造園は単に「緑をつくる」仕事から、「人と自然の関係をつくり直す」仕事へと期待が広がっています。

街路樹や公園・広場を例にとると、景観や機能を整えるだけでなく、人と自然の関係を育て直す役割を担うようになってきました。

◆若手人材と新しい造園

職人が第一線を退く中、若い世代に魅力を伝える必要があり、若手の人材育成も大きな課題です。

技能の伝承だけでなく、ICTやAI、ドローンなどの新しい技術を活用した「新しい造園」を提案することも大切です。

造園を、若者にとってワクワクする仕事に変えていくのは、私たちの責任だと思います。

◆子どもたちに「夢」を届ける

先日、仙台市内の中学校で2年生を対象に造園の話を聞く機会をいただき、音楽仲間と一緒に「造園×音楽=みんなの○○」というタイトルで45分の講話を行いました。

私自身、○○に「笑顔」を想定していましたが、子供たちに質問してみると、生徒が答えてくれたのが「夢」でした。その素直な答えに、心が温かくなりました。

訳ではありませんが、意見を交わすことで、お互いの理解が深まれば幸いですし、公園事務所からの「自分たちの職場も定着率が課題だが、以前に比べ自己育成や、やりがいなどが重要になってきている。造園業は形として残り、人のためになっていることが目に見え、それを共有できる」との言葉が課題解決のヒントになるのではと思いました。

東京都支部事務局長 濑戸 隆史

講話では、最初に元気な歌で始め、途中にしつこりした曲を挟み、最後は力強く明るい曲で締めました。その流れが、生徒たちに「夢」を感じさせたのかもしれません。

造園の話が、音楽と一緒に未来を描く時間になったことが、私にとって大きな励みとなりました。

◆国際園芸博への挑戦

2027年に国際園芸博覧会が開催されます。東北の仲間とともに、東北の豊かな自然や伝統文化を国内外に発信する絶好の機会です。

2011年に発生した東日本大震災に世界から寄せられた支援への感謝を形にし、「東北に行ってみたい」と思っていただけのような庭園を計画しております。

園芸博覧会のテーマは「幸せを創る明日の風景」、造園は地域から世界まで、希望や夢をつなぐ仕事であることを示していきたいと思います。

◆造園の誇りを未来へ

緑を守り育て、未来につなぐ造園は、社会に欠かせない仕事です。

子どもたちにとって憧れの職業となるよう、私たち一人ひとりが誇りを持って発信し続けることが大切です。

そして、造園業界がこれからも人々の心と暮らしを豊かにし、未来を形づくる存在であり続けるために、これからも一層努力を重ねていきたいと思います。

人事異動

国土交通省都市局関係(9月30日付)
 辞職(独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構理事)=高橋正史(大臣官房審議官(都市局担当))

国土交通省都市局関係(10月1日付)
 大臣官房審議官(都市局担当)=出口陽一(近畿地方整備局副局長)



日造協50周年に際しあいさつする田丸氏

田丸敬三副会長逝去 後日「偲ぶ会」を予定

日本造園建設業協会副会長で、業界のまとめ役として慕われた田丸敬三氏(東光園緑化㈱代表取締役社長)が、かねてより療養中のところ、9月19日、亡くなられました。56歳でした。

ご遺族の意向で近親者のみの密葬となり、「偲ぶ会」を後日、執り行う予定。ご家族、会社へのお悔やみはご遠慮ください。

特集

日造協“会員企業の社会貢献活動”

2027年国際園芸博覧会「GREEN × EXPO2027」(2027年3月19日(金)～9月26日(日))に向けた準備が進んでいます。「GREEN × EXPO2027」は、1990年に開催された国際花と緑の博覧会「大阪花の万博」以来の博覧会国際事務局(BIE)と国際園芸家協会(AIPH)の2つの組織がともに認定する国際博覧会×国際園芸博覧会で、BIEは政府加盟、AIPHは日造協が日本を代表して加盟しています。

国際園芸博覧会の趣旨には“地域・経済の創造や社会的な課題解決等への貢献”が掲げられ、大阪花の万博が開催された90年代から花と緑とともに社会の関心が高まったのが“企業の社会貢献活動”で、90年代終わりから“CSR(Corporate Social Responsibility)”として注目を浴びた。

その後、CSRは企業イメージUPになった一方で、本来の企業活動に関連した活動などへの集約も進み、単なる社会貢献活動から、企業の持続的な成長に向けCSV(Creating Shared Value: 共通価値の創造)やESG投資、SDGsなどの言葉とともに、企業活動に組み込まれています。

こうした中、国際園芸博覧会の趣旨“地域・経済の創造や社会的な課題解決等への貢献”に対し、会員企業がどのように現在取り組んでいるかのヒアリングを行いました。本号ではその一部をご紹介いたします。

緑産業が拓く未来の地域コモンズ むつみガーデンと秋田グリーンサムの杜の実践

昭和44年創業のむつみ造園は、創業者・佐々木吉之助が掲げた「むつみ合い」と「真のふるさとづくり」の理念を礎に、潟上市天王の地で地域と共に歩んできました。

その象徴である「宝蔵神社」、家族での初詣や地域の祭り、地域住民の散歩コースなど、緑産業の知見を生かした景

観整備と地域づくりに結実しています。

「むつみガーデン」は神社を基軸に、庭園、ブドウ畠、ワイナリー、宿泊施設を備え、地産地消と景観美を融合。“上質生活文化空間”を提供する場として、地域の営みと四季の移ろいをつなげています。

「秋田グリーンサムの杜」は、藪化した16haの林を選択間伐・芝生造成により再生した事例です。

スポーツ施設や健康遊具、レストラン、キャンプ施設を備え、さらにJリーグクラブの拠点としても機能。多世代が日常的に利用できる緑地として定着しています。

両施設は民設民営・官民共営の形で、造園技術を基盤にした長期的な運営を実践。



梵音庭（むつみガーデン内）



宝蔵神社（むつみガーデン内）



むつみガーデン全景（ドローン）



ブドウ収穫（むつみガーデン）



杜のレストラン（秋田グリーンサムの杜）



ワイン（むつみガーデン）

と人の関係を再構築し、持続可能なふるさとづくりを進めています。

造園産業は「景観10年、風景100年、風土1000年」を計画・施工・運営管理において実践できる唯一無二の産業であります。

むつみ造園土木株 佐々木 創太

学会の目・眼・芽 第145回

「夢」を描くランドスケープという専門分野

(公社)日本造園学会理事・関東支部支部長、千葉大学大学院園芸学研究院教授 木下剛

今夏、日本造園学会関東支部が主催する学生デザインワークショップ/スマースタジオ2025が朝霞市で開催された。今年で第20回を数える歴史ある行事で、これまで、東日本大震災の復興支援や東京五輪のレガシーに対しても積極的な提案を行ってきた。

◆
今年のテーマは「仮説するデザイン」である。これは、未来の変化を先取りし敏感に捉える力が今まで以上に求められるようになっている昨今、生産活動や生活様式が将来どのように変化するかの仮説を立て、それに基づいて空間のあり様を提案するというものであった。

近年稀に見る難しいテーマにも拘ら

ず、学生たちは、社会人チーフターの指導・助言のもととても有意義な提案を行った。

◆
その最終講評会で、ゲスト講師のお一人が、ランドスケープデザインは学校で習うことと、実社会でやることのギャップが大きい。ワークショップで提案されたことを実現するには、仕事を作り出さなければならない、という意味のことを言われた。

理想と現実、理論と実践の乖離はどの分野でも多かれ少なかれ存在するが、ランドスケープはその度合いが大きい。別な言い方をすると、ある種の「夢」を描くようなところがランドスケープという専門分野には多分にある。

都市緑地学、エコデザイン論、緑地デザイン学の3分野が専門。これらの分野を融合させ、自然環境と人工環境の調和を図り、人間の生活と生態系の維持を両立させる“グリーンインフラ”“流域治水”“都市生態学”“オープンスペース”“千年村”などの研究、行政施策、社会実験に取り組む。



夢なのですが実現しない。しかし、だからだめなのではなくて、困難を乗り越える努力に我々に向かわせるところに、夢や希望の意義がある。

それゆえに、ゲスト講師は、ランドスケープ分野における学習と実務の乖離を否定したのではなく、それを乗り越えて仕事を作り出していくべきだと、学生たちを鼓舞してくれたのである。とてもありがたい講評だった。

◆
私事だが、学生の頃から、造園は土木や建築と比べて専門家の人数も市場の規模も小さいからもっとがんばらなければならないと、繰り返し聞かされてきた。しかし、このような言動は私に劣等感しか与えなかった。

そこで、今ではこう考えるようにしている。学校で学ぶことや学生ワークショップで取り組んでいることは、すぐに実現は難しいがしかし可能な夢を描くことである。

こんな夢見がちな分野が大きいはずがない。しかし、だからこそ存在意義があるのではないか。ビジネスが拡大を目指すのは当然であるが、ランドスケープは永遠の少数派かもしれない。

◆
すぐには理解されないが、やがて社会を変革していく、そのために来たるべき社会の像を描き、それを実現する技術を考究し続けていくことが我々の使命ではないだろうか。

匠の達人

プロ機チェンソー キャンペーン

キャンペーン期間中、
ハスクバーナ・ゼノアのプロ機チェンソーをご購入されたお客様に
最高級グレードの2ストロークオイル
「XPシンセティック」をプレゼント!

キャンペーン期間 2025年10月1日(水) ▶ 12月22日(月)

2ストロークオイルXPシンセティック 0.1L

Husqvarna XP®チェンソーのために開発された最上級エンジンオイル

■ 高負荷のハードユースを想定した極めて高い潤滑性能 ■ エンジンの異常な温度上昇を抑える
■ 高い清浄性でピストン・シリンダー・クラシクケース内をクリーンに保つ ■ JASO FD規格

対象機種

ハスクバーナ | 550XP® Mark II / 550XP® G Mark II | 560XP® Mark II / 560XP® G Mark II | 562XP® Mark II / 562XP® G Mark II

372XP® X-TORQ® | 572XP®/572XP® G | 592XP® / 592XP® G | 3120XP®

ゼノア

GZ3950EZ | GZ4350EZ / GZ4350H-EZ | G5201P/G5201HP



本社 左記エリア以外

0570-550933

受付時間9:00～17:00(土・日・祝日除く)

info.hv@husqvarna.jp

www.husqvarna.com/jp/

キャンペーンについて詳しくは

こちら▼



修学旅行とSDGs 探究学習を融合

公園などで中高生が造園に触れる機会を提供

本プログラムは、旅行会社が企画した「修学旅行」と「SDGs 探究学習」を融合させた体験型の学習プログラムです。生徒が現地を訪れ、仕事内容や地域のSDGsへの取り組みを学ぶことで、理解を深め、考える力を育むことを目的としています。

事前学習では、受け入れ先の紹介動画を視聴し、現地での質問を準備。当日は実際にフィールドに足を運び、現場で感じたことと共に質疑応答を行います。



暑さ対策について説明

8月には、富山県の高校生9名を都内の区立公園に受け入れました。

生徒たちからは屋外作業における熱中症対策について質問があり、実際に空調服を動かしてみると強い関心を示していました。

SDGsの取り組みとしては、剪定枝をチップ化して遊具周辺に敷く方法や、草刈りごみを堆肥として活用する事例を紹介しました。

また、植栽地の除草作業について説明した際には、地被植物と雑草との見分けに戸惑い、暑い中での手作業の大変さに驚きの声が上がりました。

このプログラムは、単なる職業紹介にとどまらず、職場の困りごとに対して生徒がアイディアを出し合い、発表することで「考える力」を育てるにも繋がっています。

今回は現地で体感してもらった「夏場の公園における暑さ対策」をテーマに設



公園内の所々でSDGsなどの取り組みも説明



樹木調査について説明



公園や指定管理者制度について説明



地被植物と雑草の見分け方を説明

もううきつかけにもなることから、今後もより良い学びの場を提供できるよう努めていきたいと思っています。

東武緑地株 矢部 真樹

ビジネス展開を楽しみにラオスで居酒屋

子供の頃の願望実現へ 大事なのは実践と継続

貿易業に従事していた父は、海軍出身で、戦後米軍基地で英語を習得、貿易の分野で起業し3隻の船で東アジア～東南アジアと交易。1968年に国交回復前の中国・天津港で貨物船がスパイ容疑で拿捕、数億円の負債を抱え倒産。造園業に転身した。伯母は、朝鮮戦争時に基地のまち・小倉で米兵と結婚し渡米した。

私は、こうした環境で



掛け算九九練習板を提供 説明する様子



遊具で遊ぶ子供たち

育ったせいか、子供の頃から海外に興味を持っており、大学の卒論は、ODAに関するもので、“港やダム、道路などのインフラ整備も重要だが、日本人が得意とするアナログ、ローテク技術、教育の支援もすべき”とした。

ベトナムで普及している母子手帳が母

親と乳幼児の命を守り、アフリカで現地の人を雇用し蚊帳を生産し伝染病から子供の命を守っているといった現在JICAが行う“草の根支援”のような事業だ。

31歳で弊社代表となり、仕事に追われる毎日だったが、20年ほど前に中国・成都市でのテーマパークの造園、米国タコマ市での築庭事業に関わり、海外事業への願望が蘇り現在に至っている。

まずは仲間とNPOの立場で中国のボタ山緑化活動に従事していたが、12年前のJICAラオスセミナー参加を契機としてビジネスもボランティアもラオス人民主共和国での活動を決心した。

ラオスは人口約800万人、GDP2～3兆円とアセアン諸国では下位の経済力、海に接しておらず自動車組み立てなどの輸出産業は困難。社会主義国だが仏教徒の国で穏やかな性格の人たち。日本のODA支援も多額で親日の国もある。

ビジネスを念頭に置いての関係づくりのためのボランティアを始め、『All work and no play makes Jack a dull boy.』(よく遊びよく学べ)の由来から



居酒屋の入口と店内の様子

8年前からラオスの幼稚園、小学校延べ8校に遊具を寄贈。2年前から弊社としても教具やサッカーボールなどのスポーツ用品をお届けしている。

ビジネスとしては、キノコ栽培に始まり、現在は首都ビエンチャンの中心部で「居酒屋 市」を日本人店長とラオス人スタッフ7人で運営している。安定した拠点ができたのでこれからのビジネス展開を私自身楽しみにしている。

私は、社会貢献活動に関して“例え自己満足であっても、偽善であっても、何もないより実践する方が良い。ただし継続することが大事”と考え、ラオスでの活動を行っている。

(株)九州造園 藤田 良司

第20回若年者ものづくり競技大会開催

造園「金賞」に森本波音さん (奈良県立磯城野高校)

第20回若年者ものづくり競技大会が8月3・4日、香川県のあなぶきアリーナ香川を主会場に開催された。

大会は、厚生労働省と中央職業能力開発協会(JAVADA)が主催。高等学校等で技能を習得中の企業等に就業している。

第20回若年者ものづくり競技大会
「造園」入賞者一覧 (参加選手26名)

賞	氏名	学校
金賞 厚生労働大臣賞	森本 波音	奈良県立磯城野高等学校
銀賞	川井 詩葉	岡山県立興陽高等学校
	妻屋 安連	東京都立園芸高等学校
	野々村光翔	京都府立農芸高等学校
銅賞	丹羽 旺暉	香川県立農業大학교
	押田 結心	大阪府立園芸高等学校
	松本 莉乃	三重県立四日市農芸高等学校
敢闘賞	水野 希美	愛知県立猿投農林高等学校
	長瀬 瑞生	北海道岩見沢農業高等学校
	大城 梓人	沖縄県立久米島高等学校
	碇子 星奈	愛知県立半田農業高等学校
	牛ノ瀬奏海	鹿児島県立鶴翔高等学校
	村瀬 芥柳	岐阜県立加茂農林高等学校

い20歳以下の若年者を対象に、日々学校や訓練等で培った技能を競い合い、次世代のものづくり産業を担う若き技能者を育成することを目的としている。

今年度は15職種が実施され、造園は高校生や専門学校生26名が出場し、主会場で競技が行われた。

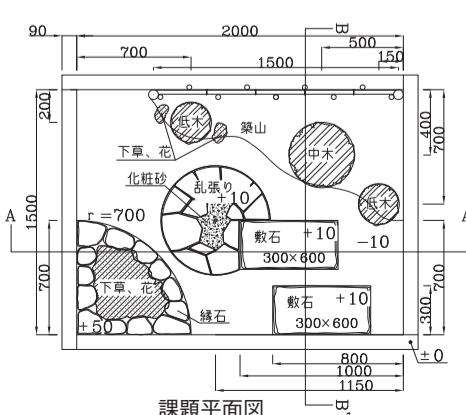


金賞を受賞した森本さんの作品

競技は、決められた課題を2×1.5m区間に3時間半の制限時間内に一人で作庭するというものである。

四つ目垣の作成や乱張り、石積み、植栽など技能検定2級レベルの課題を取り組み、奈良県立磯城野高等学校の森本波音選手が金賞を受賞した。

審査終了後には講評の場が設けられ、選手たちは熱心に耳を傾け、施工精度や段取り、仕上がりの工夫など、今後に生かせる指摘を真剣に受け止めていた。競技を終えた直後にもかかわらず、技術の習得に向けて積極的に学び取ろうとする



課題平面図



①課題の素材 ②作業のようす

ふる
と自慢
山形県

鳥海山

26年前に首都圏からIターン移住した私にとっての庄内地方の象徴であり一番の魅力といえば何といっても鳥海山です！◆

鳥海山は山形県と秋田県との県境に跨る標高2236mの活火山です。「出羽富士」と呼ばれ東北で2番目の高さを誇り、天気さえ良ければ庄内平野のほとんどの場所からその雄大な姿を臨むことができます。

日本海の海拔0mから山頂までの距離が約16kmと近いことが特徴で、海から山頂まで一気に伸びる稜線の美しさが最大の魅力です。◆

複数の登山ルートのうち、私の好きなルートからは庄内平野と海岸線を眼下に明るく爽快な気分を

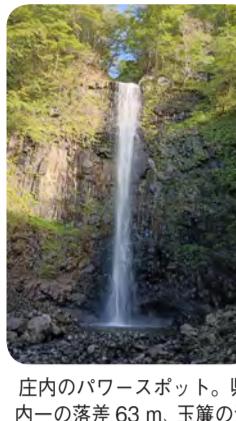


鳥海山 ⑤夏 ⑥黄金色の田と ⑦初冬
味わうことができます。

登山口はブナ中心の植生ですが中腹にはお花畠や高層湿原が広がり、真夏でも一部に雪渓が残ります。



鳥海山中腹からの日本海
⑤夏⑥秋



庄内のパワースポット。県内一の落差63m、玉簾の滝



④胴腹の滝⑤滝に向かう小径

や酒田市内などの飲食店で美味しいだけます。

また、酒田市の北隣の遊佐町を流れる牛渡川は1日約3万トンの湧水が流れ込み、梅花藻やカジカなどが見られる清流です。鮭の孵化施設もあり秋～冬には鮭の遡上が見られます。◆

庄内地方の観光にはドライブがおすすめです！

他にもお勧めしたい場所がたくさんあります、何より食べ物が美味しいです！

鳥海山や湧水がもたらす豊かな自然と景観、美味しい食べ物を楽しみに皆様ぜひお越しください。

山形県支部 越田 史子(庄内園芸緑化株)



孫に夢中、老後はお預け



私の生きがいは、何より孫の存在です。

自分の子育て時代を振り返れば、毎日が必死で、家事や仕事に追われるうちにあつという間に子供たちは成長し、巣立っていきました。

慌ただしい日々に流され、もっと余裕をもって接してあげれば良かったなど、今になつて思うこともあります。

そんな私の前にやってきたのが長女の息子天君(孫)です。生まれたての天君を胸に抱いた瞬間、一瞬で心を奪われ虜になりました。◆

この夏、来年度の小学校入学を機に2世帯同居がスタートしました。

夫婦2人の静かな生活から一変、娘夫婦が飼っていたでつかい猫のぶーちゃんまで加わり我が家は賑やかそのものです。

自分が子育てをしていた頃には気付なかった小さな成長の積み重ねや、子供ならではの発想の面白さそんな日々の成長を間近で感じられることが何よりの幸せだと実感しております。

そんな天君ももうすぐ6歳、自然が大好きで海や川に出かけると、目を輝かせ全力で楽しめます。



ぐ6歳、自然が大好きで海や川に出かけると、目を輝かせ全力で楽しめます。

次はどんな景色を見せてあげようかなあと考えるのが私の楽しみでもあります。

天君が笑えば私も笑い、拗ねればなだめる。言葉や仕草に驚いたり癒されたり天使の寝顔を見るだけで心の充電は即満タン♡◆

これからも5人と1匹、みんなで楽しく暮らしましょ。

のんびりした老後を夢見ていた私ですが、その予定はしばらくお預けになります。

事務局の動き

【10月】

- 1(木)・国際企画部会
- 2(木)・運営会議
- ・2027年国際園芸博覧会特別委員会
- 6(月)・北陸地方整備局企画部との意見交換会
- 7(火)・広報活動部会
- ・東北総支部交流会
- ・街路樹剪定士研修会 講師説明会
- 10(金)・関東・甲信越支部交流会
- 18(土)・技能五輪全国大会～20(月)
- 23(木)・登録造園基幹技能者講習(大阪)～24(金)
- 24(金)・四国総支部交流会
- 31(金)・運営会議
- ・「ひろげよう育てようみどりの都市」全国大会

【11月】

- 4(火)・広報活動部会
- 5(水)・植栽基盤診断士認定試験(実地試験)(京都)～6(木)
- 7(金)・植栽基盤診断士認定試験(実地試験)(愛知)
- 12(水)・緑地樹木剪定ハンドブック編集委員会
- 13(木)・建専連 全国大会
- 14(金)・中部総支部交流会
- 18(火)・北陸総支部交流会
- 19(水)・北海道総支部交流会
- 20(木)・植栽基盤診断士認定試験(実地試験)(東京)～21(金)
- 25(火)・植栽基盤診断士認定試験(実地試験)(福岡)～26(水)

委員会等の活動

- 広報活動部会
9/2日造協ニュース9月号の内容確認、2026年1月までの記事構成、新春座談会に向けて審議
- 造園技術フォーラム部会
9/4造園のDX事例発表を開催した。収録した内容を後日会員へ配信予定
- 地域リーダーズ勉強会(群馬)の開催案内・申込受付開始
9/17群馬県太田市において勉強会を開催するため会員へ案内
- 街路樹剪定士・緑地樹木剪定士認定委員会
9/16街路樹剪定士の開催資料(持参物リストなど)と緑地樹木剪定士認定試験(夏期)の合否判定について審議
- 植栽基盤診断士認定試験(学科試験)
9/21学科試験を5会場で実施し、110名が受験。
- 緑地樹木剪定ハンドブック編集委員会
9/22「公園・緑地樹木剪定ハンドブック」の改訂・編集を行った。
- 植栽基盤診断士認定委員会(試験部会)
9/24学科試験(計算・記述式問題)の採点を行った。
- 植栽基盤診断士認定委員会(試験部会)
9/26学科試験の採点結果と実地試験の開催について審議した。
- 植栽基盤診断士認定委員会
9/29学科試験の合否判定と実地試験の開催について審議した。



鳥海山中腹からの日本海
⑤夏⑥秋

庄内のパワースポット。県内一の落差63m、玉簾の滝

④胴腹の滝⑤滝に向かう小径

や酒田市内などの飲食店で美味しいだけます。

また、酒田市の北隣の遊佐町を流れる牛渡川は1日約3万トンの湧水が流れ込み、梅花藻やカジカなどが見られる清流です。鮭の孵化施設もあり秋～冬には鮭の遡上が見られます。◆

庄内地方の観光にはドライブがおすすめです！

他にもお勧めしたい場所がたくさんあります、何より食べ物が美味しいです！

鳥海山や湧水がもたらす豊かな自然と景観、美味しい食べ物を楽しみに皆様ぜひお越しください。

山形県支部 越田 史子(庄内園芸緑化株)

日造協 ようこそ日造協へ! 新入会員のご紹介

社名 / 住所	代表者 / FAX
いしかわかんきょうりょうつか 石川環境緑化株	石川 重明
栃木県鹿沼市上石川 1643-5	
☎ 0289-76-2303 FAX 0289-76-1441	
とちぎりょくそう (有)栃木緑創	栃木 宏昭
栃木県栃木市岩舟町静和 2155	
☎ 0282-55-2210 FAX 0282-55-2210	



街路樹剪定士の資格更新手続をオンラインで実施

街路樹剪定士の資格更新手続をオンラインで実施します。

対象者：今年度末(3/31)に有効期限を迎える方、有効期限が過ぎている方

※更新対象者のうち、今年度末に有効期限を迎える方と、有効期限を過ぎて3年以内の方には、9月末に案内ハガキを郵送しております。

更新方法

1. 資格者専用ページからマイページにログイン
2. オンラインでの講習を受講(カメラ・

マイク等不要)

3. 更新手数料の納入(クレジットカード・コンビニ払い・ペイジー(ATM決済))

4. 認定証に使用する顔写真の送信

更新手続期間：2025年10月1日～

2026年1月31日

更新手数料：14,300円(税込)(インターネット環境の無い方は15,950円(税込))

詳しくは日造協ホームページに掲載しています(<https://www.jalc.or.jp/sentei/sentei03.html#page03>)。

2025年度緑地樹木剪定士研修会・認定試験(冬期)を開催

2025年度緑地樹木剪定士研修会・認定試験(冬期)を下記のとおり開催します。

研修会受講資格：街路樹剪定士であること(資格が有効な方)

認定試験受講資格：緑地樹木剪定士研修会を受講された方

※直前回(2025年度夏期)で不合格になった方は、再受験可能です。

受講・受験の流れ

1. CBTSサイトで受験日予約、受講・受験料支払
2. 送付されたテキストおよび映像講義の動画により研修受講
3. 予約したテストセンターでの受験

申込期間：2025年10月14日～11月30日

研修期間：2025年12月6日～2026年1月5日

(研修期間中は映像講義を何度も受講可能)

試験期間：2026年1月6日～1月31日

(うち1日を予約)

合否通知送付予定：2026年2月

受講・受験料

一般：35,200円(税込・テキスト代含)

日造協会員：18,700円(税込・テキスト代含)

再受験料

共通：7,700円(税込・テキスト代含)

詳しくは日造協ホームページに掲載しています(<https://www.jalc.or.jp/ryokuti/index.html#page03>)。

女性活躍推進部会

9/30「国土交通省×建設産業女性定着ネットワーク」働きやすく働きやすいある建設産業の実現に向けた全国会議で、建設産業における女性活躍・定着に向けた実行計画の推進について情報を共有

●2027年国際園芸博覧会特別委員会

9/4博覧会準備状況、屋内・屋外出展の調整状況等について情報共有

編集後記 田丸敬三副会長のご逝去に深く哀悼の意を表します。氏も同じ広報活動部会に所属され席と同じくし、毎月の編集会議とその後のホッピー、気が付けば一升瓶が空になり…、温厚な人柄と笑顔が思い出されます。早過ぎますよ。心よりご冥福をお祈りいたします。